第10回医工連携交流会（分科会）へお誘い

目的：産と学に係わるｼｰｽﾞ・ﾆｰｽﾞのﾏｯﾁﾝｸﾞによる地域貢献に寄与する。

- 国立大学法人　群馬大学の産学連携に係る基本方針と意気込みを企業経営者に理解して貰う。
- 産学官連携による事業の推進に寄与する。
- 中小企業のシーズを発信・企業間の共同開発に寄与する。
- 大学の知の創造を育む組織・体制作りに寄与する。

１）　日時:平成 18年1月25日（水）17：00～21：00

２）　場所：前橋東急インホテル　（群馬県前橋市本町 2-16-1）

TEL 027-221-0109　　FAX 027-221-5768

3）実施内容

第一部　講演会（17：00～18：00）

挨拶　　ＮＰＯ法人北関東バイオフォーラム

理事　泉　哲郎（生体調節研究所　遺伝生化学分野教授）

報告（1）　医療機関における情報システムの開発

株）ズー　医療調剤事業部　関谷千尋氏

取締役　営業統括部長　藤沢幸雄氏

報告（2）　群馬大学（医学部・生体調節研究所・附属病院）の紹介（2）

群馬大学医学部核画像医学科　遠藤啓吾教授

群馬大学発ベンチャー“先進医用画像解析センター“

代表取締役社長　中島崇仁先生

報告（3）　技術相談料に係わる説明

文部科学省　産学連携コーデイネーター　　大石博海

第二部　研究会（18：10～19：45）・・・・・分科会方式

＊ 第1分科会

内田陽子先生（群馬大学医学部保健学科看護学専攻臨床看護学　講師）

梅田孝一、玉田和子、曳田恵理（斉藤記念病院　看護部　看護師）

テーマ：全身麻酔におけるベルトの開発

佐藤正樹（群馬県立心臓血管センター　看護部　看護師）

テーマ：ナースコールホルダーの開発

高橋陽子（美原記念病院　看護部　看護部長）

黒田昌弘、大野禄女、飯嶋美鈴（美原記念病院）

テーマ：車椅子専用の点滴スタンド・酸素ボンベ収納 BOX の作成

トランスファー介助用肩ポンチョの作成

ドレーン対応型 BOX 型シーツの作成

＊第2分科会

村上正巳先生（群馬大学大学院医学系研究科病態検査医学　教授）

福村幸仁先生（群馬大学附属病院　臨床検査部技師長）

関口桂子先生（群馬大学附属病院　主任　臨床検査部技師）

テーマ：　・効率的な生理機能検査のための器具の改良

・車椅子の改良

・脳波検査用ペーストの改良

＊第3分科会

佐藤哲雄先生（防衛医科大学校名誉教授）

五十嵐孝先生（自治医科大学麻酔科学集中治療医学講座　講師）

テーマ：硬膜外内視鏡（Epiduroscopy）とその臨床応用

＊第4分科会

前田三枝子先生（群馬大学医学部附属病院　病院長補佐・看護部長）

尾上悦子（群馬大学附属病院　看護部　副看護部長）

テーマ：シーツを使ってらくらく体位交換

第三部　意見交換会（会費制：3，000円／人）（19：50～21：00）

名刺交換と懇親会を実施する。

出欠確認（締切日は2006．1．17）

群馬大学地域共同研究センター昭和分室（石田）宛てに、出欠確認をファックス（027-220-8116）又は電話（027-220-8115）でお願いします。

尚、出席者名簿を作成しますので参加申込書に所属（企業名等）、氏名（フルネーム）の記載をお願いします。

主催：群馬県、ＮＰＯ法人北関東バイオフォーラム

共催：群馬大学地域共同研究センター　昭和分室

共催：大学院教育 GP 「魅力ある大学院教育イニシアティブ」

後援：関東経済産業局

第10回医工連携交流会（分科会）参加申込書

（締切日；2006.1.20）

群馬大学地域共同研究センター昭和分室（石田）迄、FAX
又は TEL で申し込んで下さい。
FAX；027－220－8116
TEL；027－220－8115

学籍番号：
専攻分野：
氏　　名：

	氏　名	氏　名	氏　名
第一部（報告１・2））			
第二部（研究会）	下記にご記入をお願い致します。		
第三部（意見交換会）			

※　会社名のご記入・御出席出来るところに氏名をお願い致します。
（尚、第３部御出席の方は受付にて会費を申し受けます。）

第二部　希望する分科会の記入をお願い致します。

分科会	テーマ	氏　名
第一分科会	全身麻酔におけるベルトの開発	
	ナースコールホルダーの開発	
	・車椅子専用の点滴スタンド・酸素ボンベ収納 BOX の作成 ・トランスファー介助用肩ポンチョの作成 ・ドレーン対応型 BOX 型シーツの作成	
第二分科会	・効率的な生理機能検査のための器具の改良 ・車椅子の改良 ・脳波検査用ペーストの改良	
第三分科会	硬膜外内視鏡（Epiduroscopy）とその臨床応用	
第四分科会	シーツを使ってらくらく体位交換	